

## 第27回公安委員会定例会開催状況

### 1 開催日時

令和6年10月24日（木）13時30分～16時40分

### 2 決裁事項

#### (1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し事案及び欠格期間等の処分について報告を受け、決裁した。

#### (2) 苦情の受理

警察本部から、苦情の受理について報告を受け、決裁した。

#### (3) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

#### (4) 池田組の指定暴力団の指定

警察本部から、池田組の指定暴力団の指定について報告を受け、決裁した。

#### (5) 岡山県警察関係手数料徴収条例の一部改正

警察本部から、岡山県警察関係手数料徴収条例の一部改正について報告を受け、決裁した。

#### (6) 警察職員の援助要求

警察本部から、警察職員の援助要求について報告を受け、決裁した。

### 3 報告事項

#### (1) 令和6年度行政評価及び第2期おかやま創生総合戦略効果検証

警察本部から、

- 「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」及び「第2期おかやま創生総合戦略」に掲げる指標や施策、事業について、各施策の指標の達成度から、5点満点で評価するものである。
- 「行政評価」については、警察本部所管プログラムの「暮らしの安全推進プログラム」は「3.0」であった。
- また、「第2期おかやま創生総合戦略」の効果検証結果は、刑法犯認知件数の達成度は「3」、人身交通事故件数の達成度は「2」であった。

旨の報告を受けた。

委員が、

「新型コロナウイルス感染症のまん延やサイバー空間の発達など大きな社会変動がある中、施策・事業の達成度を評価することは困難な面もあると思うが、変動する社会の実情を踏まえた上で、次の指標を作成していただきたい。

新型コロナウイルス感染症収束後の人の動きやそれに伴う犯罪発生に対応していくことは困難であると思う。県警察は、社会の変化への対応力をいかに身に付けていくかということを考えていく必要があると思う。」

旨を発言した。

(2) 令和6年度監察実施状況（令和6年7～9月）

警察本部から、

- 総合監察は、「適正な業務及び非違事案防止対策の推進状況」を監察事項として、各警察署の術科監察及び事務監察を計画し、期間中4警察署において実施した。
- 術科監察は通常点検、総合対処法訓練、逮捕術訓練等、事務監察は人事管理及び組織管理、事件等への的確な対処等について、それぞれ実施した。
- 結果における主な良好事項は、あらゆる機会を利用した各種教養の実施や風通しの良い職場環境づくりに向けた意見箱の設置などが認められたことである。

旨の報告を受けた。

委員が、

「各警察署に出向いて監察を実施することは、緊張感を高めるために重要であると思う。記録媒体の取扱いについては、重大な事態に発展する可能性があるため、管理を徹底していただきたい。

確認項目が多過ぎるために処理することができなくなっていると思う。人身の安全や人権に関わるようなものとそれ以外というように、項目を重要度で分類することも必要であると思う。」

旨を発言した。

(3) 第62回岡山県民の警察官受賞者の決定

警察本部から、

- 長年地域に密着し、県民の安全な暮らしを守るために活動している警察官をたたえる「岡山県民の警察官」は、昭和38年に創設され、これまでに61人が受賞している。
- 62回目となる今回は、美咲警察署地域課西川駐在所に勤務する秋山照光巡查部長の受賞が決定した。
- 表彰式は12月4日（水）、岡山市北区下石井の岡山放送株式会社において開催され、11月16日（土）に、受賞者の活動状況等の特集した番組が放送される予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「栄えある賞であり、地道に活動してきた警察官を表彰することは素晴らしいことであると思う。

警察官の地道な活動が県民の安全・安心につながっているということを周知させる良い機会になると思う。」

旨を発言した。

(4) 犯罪抑止総合対策推進状況（9月）

警察本部から、

- 令和6年9月末の刑法犯認知件数は7,015件と、前年同期比177件(2.6%)増加した。
- 「刑法犯の割合」は、窃盗犯が4,929件と、全体の約7割を占めており、窃盗犯のうち認知件数の多い順は、自転車盗、万引き、車上ねらい、空き巣、オートバイ盗となる。現在、鍵掛けに関する様々なグッズ展開を検討しており、各種機会を通じて配布することにより、鍵掛けの広報を一層強化・推進し、更なる犯罪抑止に努めていく。
- 「特殊詐欺認知状況」は107件と、前年同期比29件減少、被害額は約2億8,320万円と、前年同期比約1億6,270万円減少した。9月中、警察官をかたるオレオレ詐欺を認知したことから、手口に関するチラシを活用し、注意喚起を実施していく。
- 「SNS型投資・ロマンス詐欺認知状況」は112件と、前年同期比94件増加、被害額は約14億3,300万円と、前年同期比約13億2,060万円増加した。SNS型投資・ロマンス詐欺については、中・長期間で金銭をだまし取る傾向があり、被害が潜在化しているおそれもあることから、SNS等の各種広報媒体を最大限に活用した広報を実施していく。

旨の報告を受けた。

委員が、

「犯罪抑止対策を推進する上で、抑止活動の数値目標を設定し、その達成状況や効果に応じて今後の対策を練り直していく必要があると思う。

自転車の盗難被害を防止するためには、防犯カメラだけではなく、人の目や声も必要であると思う。行政と連携して、監視員の設置を進めていただきたい。」

旨を発言した。

(5) 岡山県警察嘱託犬審査会の開催

警察本部から、

- 嘱託犬指導者の確保と嘱託犬としての能力を審査することを目的に、11月8日(火)、総社市内の高梁川河川敷グラウンドにおいて嘱託犬審査会を開催する。
- 受審犬26頭、指導者19人が参加する予定で、一般捜索犬、地域捜索犬、死体捜索犬の3種目で審査する。
- 審査合格犬は、12月18日(水)に開催される委嘱式において警察本部長から警察嘱託犬として委嘱される予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「嘱託犬を育てていくことは大変な苦労があると思う。嘱託犬の指導者に対する報酬を厚くしていただきたい。

警察犬の不足を嘱託犬で補うという運用は良い仕組みであると思う。嘱託犬を継続して確保できるよう、県民に対する情報発信をしていただきたい。」

旨を発言した。

(6) 人事案件

警察本部から、人事案件について報告を受けた。

- (7) 非違行為及び内部公益通報の処理結果  
警察本部から、非違行為及び内部公益通報の処理結果について報告を受けた。
- (8) 学校関係者に対する少年非行情勢等の情報発信状況  
警察本部から、学校関係者に対する少年非行情勢等の情報発信状況について報告を受けた。
- (9) 大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律における大麻等施用罪の創設  
警察本部から、大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律における大麻等施用罪の創設について報告を受けた。
- (10) 銃器根絶キャンペーンポスターによる広報啓発活動の推進  
警察本部から、銃器根絶キャンペーンポスターによる広報啓発活動の推進について報告を受けた。
- (11) おかやまマラソン2024の警備対策  
警察本部から、おかやまマラソン2024の警備対策について報告を受けた。
- (12) 岡山県爆発物原料取扱事業者等連絡協議会総会の開催  
警察本部から、岡山県爆発物原料取扱事業者等連絡協議会総会の開催について報告を受けた。

#### 4 次回公安委員会

令和6年11月7日（木）13時00分から開催予定